

索引	用語	解説	主な使用箇所
A	AI	Artificial Intelligenceの略。人工知能。	p. 10, 11, 13, 18
D	DX	Digital Transformationの略。将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して組織・業務モデルの柔軟な改変・新たな創出をすること。	p. 9, 12, 13, 15, 24
あ	アクティブラーニング	一方向性による知識伝達型の学習方法ではなく、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。	p. 8, 11, 12, 23, 24
い	異文化への機敏な対応（力）	異文化アジリティ。世界中の多様な環境のなかでうまく活動し、異なる文化、ときには相反する文化のレンズを通して状況を見ること。	p. 11, 14
い	イノベーション	技術革新。また、これまでとは全く違った新たな考え方、仕組みを取り入れて、新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすこと。	p. 10, 23
い	インセンティブ	ある行動をとることの要因。動機付け。	p. 22
い	インターンシップ	学生が在学中に、企業等において自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと。	p. 12, 14, 15, 23, 24
う	運営（費）交付金	公立大学の財源であり地方公共団体から拠出される。公立大学を有する地方公共団体に対しては、大学を設置し管理するための経費が普通交付税額の算定において基準財政需要額に算入される。	p. 28, 29
お	オンデマンド化	時間や場所にとらわれず、インターネットにアクセスして視聴できるようにすること。	p. 15
か	学部	学生や教職員が所属し、特定の学問領域ごとに教育研究を実施する基本的組織。	p. 5, 7, 18, 21, 28
か	仮想現実	バーチャルリアリティ（VR）。コンピュータによって作り出された世界である人工環境を現実のように知覚される技術。	p. 13
き	起業家精神	アントレプレナーシップ。様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず、自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神。	p. 8, 11, 14, 15
き	技術リテラシー	基本原則を理解するための、数学やプログラミング、工学の基礎的な原理の知識・能力。	p. 14
き	教職協働	教員と職員が立場の違いを理解し、互いに高め合いながら、大学の教育研究をともに担うこと。	p. 9, 15, 22, 23
く	グローバルスタンダード	世界標準。多様性の重視や交換留学、国際共同研究の推進などは教育研究におけるグローバルスタンダードの例。	p. 7, 8, 10, 11, 23
こ	高大接続	高校教育と大学教育の接続、移行。要素の一部には大学入試を含む。	p. 9, 21
こ	高大連携	高校と大学が連携して行う教育活動。	p. 16
こ	公立大学法人	地方独立行政法人法に定められた地方独立行政法人制度の一つ。大学の設置及び管理等を行う。	p. 7, 22, 30
さ	サバティカル制度	大学での業務を離れ、一定期間に学外の教育研究機関等において自身の研究に集中して取り組むための制度。	p. 22
し	システム思考	物事を総体的に捉え、さまざまな機能間を統合的に接続したり、異なる文脈に創造的飛躍、展開、適用すること。	p. 14
し	修士課程	学部を卒業した後等に進学する課程。高度な研究力や専門知識を身につけられ、終了時に修士の学位が授与される。	p. 7, 14, 19, 20, 21, 28
せ	生産年齢人口	経済学用語の一つで、国内で行われている生産活動に就いている中核の労働力となるような年齢の人口のこと。15歳以上65歳未満。	p. 4
せ	設置認可	大学等を設置しようとする者が文部科学大臣に認可申請を行い、その設置の可否について大学設置・学校法人審議会の審査を経て、文部科学大臣が認可を行う。	p. 30

索引	用語	解説	主な使用箇所
そ	創造的技術者	クリエイター。専門家というだけでなく、人にしかできない想像力、創造力を発揮する人材。	p. 14
そ	創造的思考	物事を総体的に捉え、さまざまな機能間を統合的に接続したり、異なる文脈に創造的飛躍、展開、適用すること。	p. 8, 11, 15
た	ダイバーシティ	多様性。性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会という。	p. 8, 10, 11, 23
た	単位互換	自らが所属する大学以外の大学等において履修した授業科目について取得した単位を、各大学の定めるところにより、一定の範囲内で自らの大学における授業科目の履修によって修得したものとみなすことを可能とする制度。	p. 16
ち	知の総和	令和7年2月21日の中央教育審議会答申（中教審第255号）の中心的な考え方。持続可能な活力ある社会の実現のためには、「知の総和」（数×能力）を向上することが必須とされている。	p. 4
て	データサイエンス	統計学と情報学を基礎に置き、ビッグデータ等を処理・分析して新たな価値を生み出す分野。	p. 11, 14, 18
て	データサイエンス・AI認定制度	デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である数理・データサイエンス・AIに関する大学等の正規の課程の教育プログラムのうち、一定の要件を満たした優れた教育プログラムを文部科学大臣が認定／選定することによって、大学等が数理・データサイエンス・AI教育に取り組むことを後押しする制度。	p. 14
て	データリテラシー	分析を通じてビッグデータを理解し活用する能力。	p. 11, 14, 15
は	ハイブリット型授業	対面授業とオンライン授業を組み合わせた授業。	p. 15
は	博士課程	修士課程を修了した人等が進む課程。修士課程よりもさらに高度な専門知識や研究力を身に付け、自立して研究活動を行うことを目的としている。終了すると博士の学位が取得できる。	p. 7, 8, 19, 21, 28
ひ	批判的思考	クリティカルシンキング。ある考えについてよく分析したうえで、それを有用な場所に適用すること。	p. 8, 11, 14, 15
ひ	ヒューマンリテラシー	コミュニケーションや他者とかかわる能力。人間とは何かを考え、人間とテクノロジー等との関係を考える能力。	p. 14
ふ	プロジェクト型課題解決学習	アクティブラーニングの学習方法の一種。実世界に関する解決すべき複雑な問題や問い、仮説をテーマを設定しプロジェクトとして解決・検証していく学習。	p. 12, 15
ま	マインドセット	物事の見方や考え方。価値観。	p. 15
ま	マル合（教員）	大学院教育において、講義及び研究指導を行うことができる教員。	p. 23
も	問題解決型学習	実世界で直面する問題やシナリオの解決を通して、基礎と実世界とを繋ぐ知識の習得、問題解決に関する能力や態度等を身につける学習。	p. 15, 24
ら	ラーニングコモンズ	学生の主体的な学修を支援する空間のこと。個人の自習やグループディスカッションなどで利用。	p. 12, 27
り	リカレント教育	学び直し。就労と学びを繰り返しながら、求められる能力・スキルを追加的に身に付けることを指す。	p. 17
り	リスキリング教育	時代のニーズに即して職業上新たに求められる能力・スキルを身に付けること。	p. 9, 12, 14, 17
り	リメディアル教育	大学教育を受ける前提となる基礎的な知識等についての教育。補習教育。	p. 16
れ	レイトスペシャリゼーション	大学入学後に自身の専門分野を決める制度。	p. 7, 8, 14, 18
れ	レジリエンス	危機や変化等への対応、回復力。	p. 5